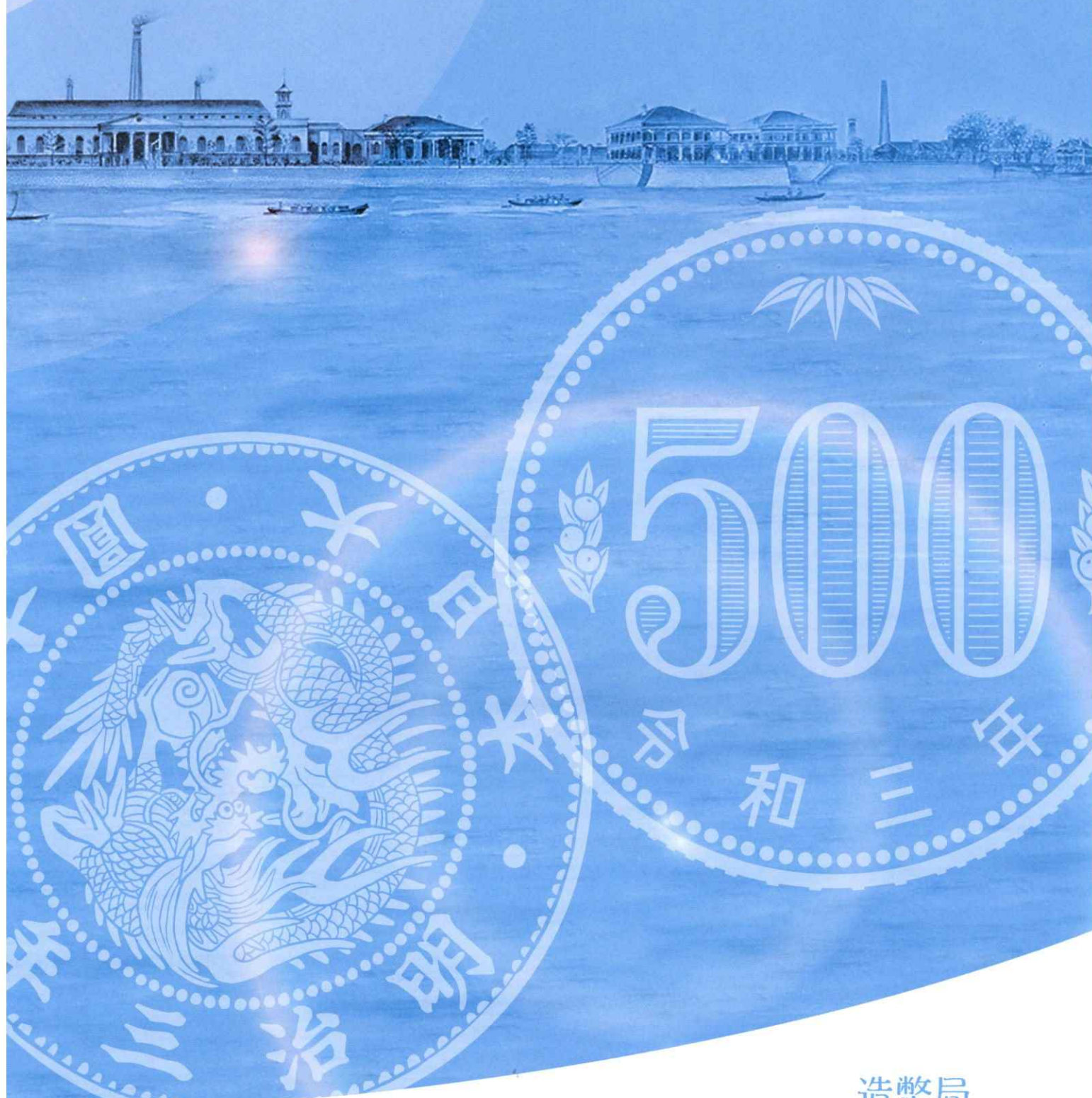


独立行政法人造幣局

JAPAN MINT



採用案内
令和3年度版





信頼と挑戦

—貨幣の信認維持と国民生活向上のために—
 伝統を受け継ぎながら、
 新たな課題に挑戦します

Message

造幣局は、明治4年(1871年)に近代国家として全国統一の新たな貨幣制度を確立するため、大阪の地に開設されました。それ以来、経済活動・国民生活の基盤である貨幣を製造、供給して、日本の発展とともに歩み続け、令和3年(2021年)に創業150周年を迎えました。

造幣局の経営理念は「信頼と挑戦」です。創業期の人たちがそうしてきたように、「何ごととも恐れず挑戦し、どんな困難も乗り越えて行く」という伝統をこれからも受け継いでいく必要があります。造幣局では、新たな課題に前向きに挑戦する若手職員に対しては、その姿勢を高く評価して、失敗を恐れず積極的に挑戦できる環境を整えています。若手時代に自ら考えて試行錯誤し、先輩から叱咤激励を受けながら成し遂げた仕事は言葉にならない満足感を与えてくれます。このような満足感の積み重ねが仕事を面白くし、当事者意識を芽生えさせ、ひいては組織を発展させていきます。経験を重ねるなかで、全てを自分自身の問題と考え、全体の状況を判断しながら自分がどう動けばよいのか常に考えることのできる職員こそが、造幣局の更なる飛躍の原動力になると信じています。

造幣局は平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは行政執行法人として運営していますが、高品質で純正画一な貨幣の確実な製造等の業務を効率的・効果的かつ透明性をもって行うという、社会的使命は何ら変わるものではありません。また、貨幣の製造以外にも、公共性の高い勲章・褒章等の製造や品位証明、企業的要素の高い貨幣セット販売などの事業を行うことで、貨幣の信認維持と国民生活向上への寄与を目指しています。

これからも造幣局は社会の要請と時代にあわせて自らを変革しなければなりません。生活スタイルの変化への対応やワーク・ライフ・バランスの実現を目指した働き方改革もその一つです。造幣局の未来を描き、未来を切り拓いていくためには、皆さんの柔軟な発想と好奇心、失敗を恐れないチャレンジ精神が力となります。皆さんに大いに期待しています。

是非私達と一緒に、国民の皆さんのために貢献していこうではありませんか。

社会的使命

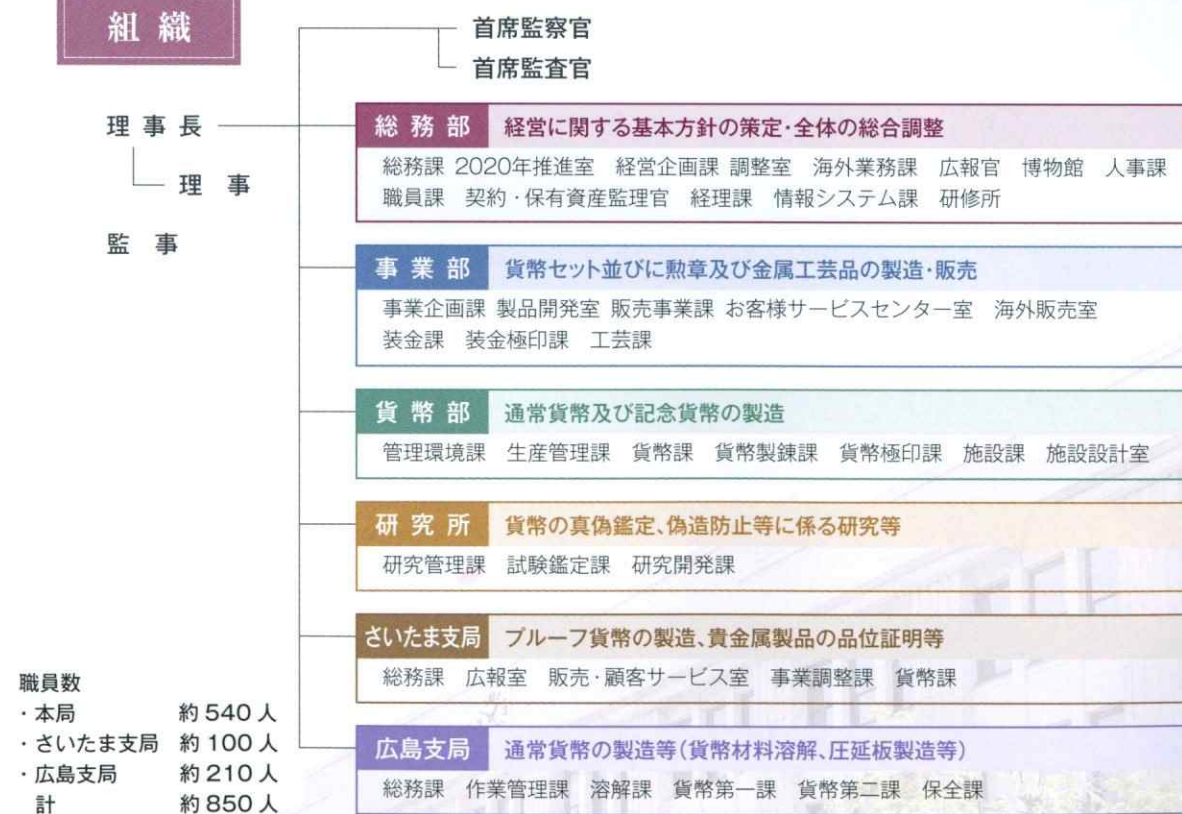
造幣局は

- 純正画一で偽造されない貨幣を、合理的な価格で安定的かつ確実に供給すること
- 国の文化を象徴する記念貨幣及び技術やデザインを工夫した収集用貨幣セットを販売し、国民の多様なニーズに応えること
- 練達した技術により、国家・社会への功績を称えるにふさわしい重厚で品格のある勲章や褒章を製造するとともに、精巧で美しい金属工芸品を製造して国民に魅力的な製品を提供すること
- 高度で確実な技術により、公的主体として品位証明及び精製・分析のサービスを行うことを通じて、国民の貨幣に対する信頼の維持と国民生活の向上に寄与することを使命とする。

目指すべき目標

独立行政法人制度の基本である「質の高い行政サービス」、「透明で効率的な業務運営」、「健全な財務内容」を目指し、最も成功した独立行政法人になるとともに、世界の造幣技術の発展に積極的に貢献する。

組織



令和3年1月1日現在

貨幣の製造

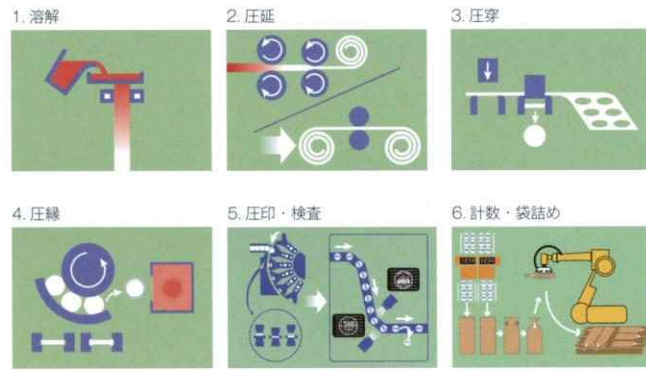
時代は変わっても、
貨幣づくりに対する姿勢は
変わりません

造幣局では、1円貨から500円貨までの6種類の
通常貨幣を製造しています。

貨幣は、材料を溶解し、圧延・圧穿・圧縁・圧印・
検査工程を経て製造されます。当局では純正画一
で偽造されない貨幣の安定供給のため、製造技術
や偽造防止技術の向上に努めています。



溶解工程



圧印・検査工程



記念貨幣の製造

造幣局では国家的な事業を記念して発行される記念貨幣を製造しています。



左から

- 東京2020オリンピック競技大会記念 一万円金貨幣
- 新幹線鉄道開業50周年記念 千円銀貨幣
- ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会記念 千円銀貨幣
- 天皇家陛下御即位記念 五百円バイカラー・クラッド貨幣

貨幣の偽造防止と安定供給

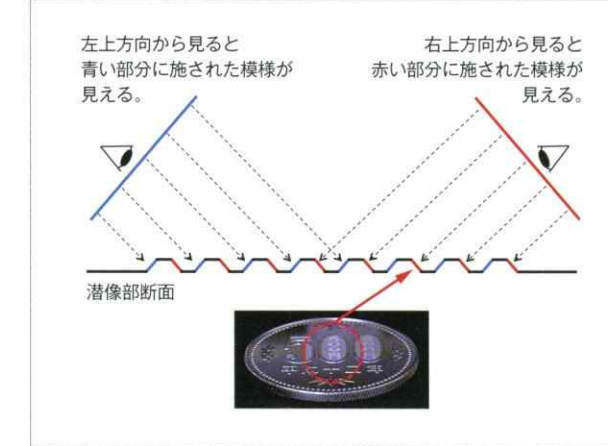
今後発行が予定されている新しい500円貨幣には、最新の偽造防止技術が採用されています。

偽造防止技術①(微細文字)

切削加工、微細加工の限界に挑んだ技術

偽造防止技術②(潜像)

見る角度によって、数字等が見え隠れする技術
潜像の概念図

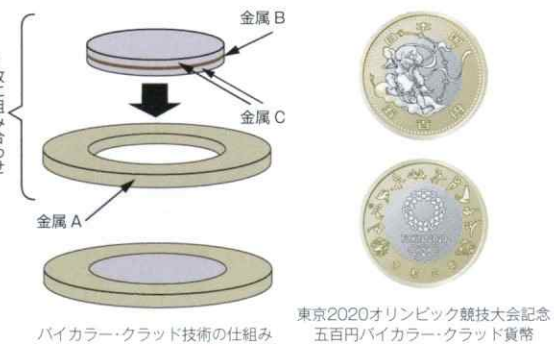
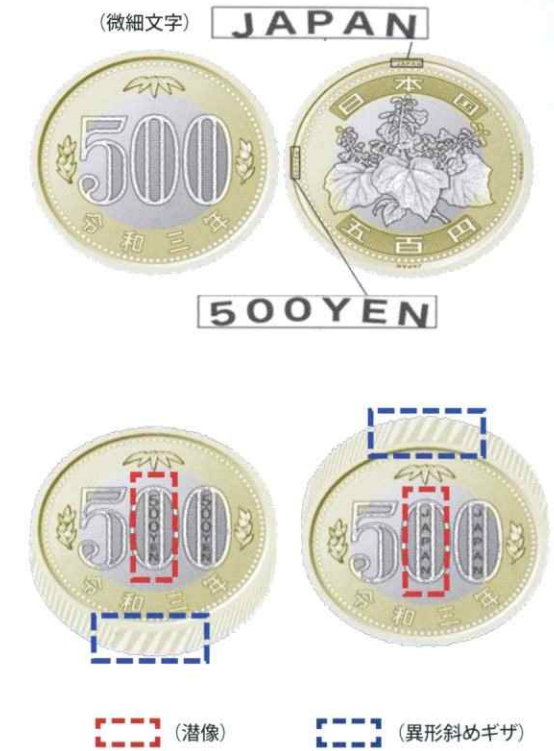


偽造防止技術③(異形斜めギザ)

大量生産型貨幣では世界で初めて導入された技術です。
斜めギザの一部に形の違うギザを入れることによって、
視認性を向上すると同時に、偽造抵抗力を大きく高めます。

偽造防止技術④(バイカラー・クラッド)

近年製造している記念貨幣に、500円バイカラー・クラッド貨幣があります。この貨幣には「バイカラー」技術と「クラッド」技術を組み合わせた技術が採用されています。「バイカラー」技術は、リング状の金属の内側に、材質の異なる金属をコアとして嵌め合わせる技術です。「クラッド」技術は、異なる種類の金属板をサンドイッチ状に挟み込む技術です。この2つの技術を組み合わせて、1枚の貨幣を作っています。



高度な偽造防止技術の導入

記念貨幣には、現行の通常貨幣で使用している偽造防止技術に加え、さらに高度化された種々の偽造防止技術を導入しています。

虹色発色技術

近年製造している記念貨幣等には、虹色発色技術が採用されているものがあります。虹色発色技術とは、貨幣表面に非常に微細な溝を作ることによって、光の回折・干渉を起こし、虹色に輝いて見えるようになる加工技術です。貨幣を見る角度が変わると、加工部が7色にキラキラと輝きながら変化するため、通常の着色などでは表現できない視覚効果を可能としています。虹色発色技術は見た目ですぐに判別しやすい偽造防止技術です。

虹色発色のイメージ



勲章・褒章の製造

匠のこだわりが生み出す勲章
— それは世界に誇れる芸術です

造幣局は、内閣府賞勲局からの発注を受けて、勲章・褒章を製造しています。

勲章・褒章は国家または公共に対し功労のある方や、各分野において優れた行いのある方に授与されるものであり、美麗・尊厳・品格を兼ね備えていることが要求されます。このため、熟練した職員が細心の注意を払って製造しています。



①桐花大勲章(正章)
②大勲位菊花大勲章(正章)
③旭日大勲章(正章) ④宝冠大勲章(正章)
⑤文化勲章 ⑥瑞宝大勲章(正章) ⑦褒章

金属工芸品の製造

金属工芸品製造に用いる高度な技術は、
貨幣製造技術の維持・向上に寄与します

〔虹色発色技術の場合〕



勲章の製造工程



- 1 材料板に勲章の模様をプレスし、形にそって切り抜きます。
- 2 ヤスリで形を整えます。
- 3 七宝が入る部分に「ゆう葉」を盛り付けます。その後、電気炉に入れて「ゆう葉」を焼き付けます。
- 4 ぼろ羽布で研磨して光沢を出し、必要な部分には金メッキをします。部品を組み立てて完成です。

Point 《機械の導入による効率化》

■ 機械の導入例

自動研磨機による羽布作業

羽布作業とは、布に研磨剤をつけて部品の表面を研磨する作業です。自動研磨機を導入して作業しています。

七宝自動盛付機

七宝ゆう葉をシリンダに詰め込み、コンピュータ制御により指定された位置に定量の七宝ゆう葉を盛り付ける機械です。



勲章の製造については、培われてきた伝統技術の確実な維持・継承に取り組むとともに、機械の導入などによる一層の効率化を図っています。

皆様のニーズに — 伝統の技が応えます

造幣局では、公共性の高い金属工芸品を受注製造するほか、偽造防止技術をはじめとする貨幣製造技術の維持・向上のため、金属工芸品の製造を行っています。

■ 金属工芸品の数々



貨幣セット等販売

あの日、あの時の『感動』をカタチに
— 永遠に刻む力があります

造幣局では貴金属を用いた金貨幣や銀貨幣を製造しており、これらの貨幣は、製造に要する費用が額面を超えるプレミアム貨幣として販売しています。このほか、民間事業者との共同企画等により、500円から1円までの貨幣をケースに収納した種々の貨幣セットを販売しています。



桜の通り抜け 2020 ブルーフ貨幣セット

Point 《行事等を記念した貨幣セット》

「エヴァンゲリオン」は、平成7年のアニメ放送開始以降、令和2年で25年目を迎えたことから、造幣局ではこれを記念した貨幣セットを販売しました。「エヴァンゲリオン」は世界に誇る日本を代表するアニメ作品であり、多くのお客様からご好評をいただきました。また、造幣局では、独自の製品企画の一つとして、種々記念日の贈り物用に毎年の年銘で記念日貨幣セットを企画販売しております。



エヴァンゲリオン2020ブルーフ貨幣セット



記念日貨幣セット

Fineness Certification of Precious Metal Wares, etc.

貴金属製品の品位証明等

公平・中立な科学の眼 — それがお安心を提供します

貴金属製品の品位証明業務は、製造・販売を行っている業者からの依頼に応じて品位試験を行い、この試験に合格したものには、証明記号（マーク）を打刻してその品位を証明しています。

この品位証明記号を通称「ホールマーク」といい、国民の皆様からの信頼も厚く貴金属製品の取引の安定と消費者保護に貢献しています。

また、貨幣材料の分析及び試験で培ってきた技術に応用した各種分析及び試験を行っています。



海外業務

世界に学び学ばれ、
海外に広めたい技術と熱意があります

世界造幣局長会議をはじめとした国際会議に積極的に参加し、最新の貨幣製造・偽造防止技術等について、各国の造幣局や通貨当局等との情報交換を行っています。

世界の造幣技術の発展のために情報交換を行っています

■ 世界造幣局長会議

(MDC : Mint Directors Conference)

各国の造幣局長が出席する国際会議で、貨幣に関連する諸問題や共同解決等に関する情報交換の場となっています。具体的には、製品開発、工程改善、販売等における取り組み事例や貨幣を取り巻く各種状況等についてセッションが設けられ、各国の造幣局より、取り組み成果や報告等が発表されます。

■ MDCコイン・コンペティション

MDCに付随するイベントとして、メンバー造幣局が製造した貨幣のコンペティションが行われます。平成24年には、このコンペにおいて当局の記念貨幣が「記念貨幣（金貨以外）最も美しい貨幣賞」に選ばれています。



MDCソウル2018

■ ワールド・マネーフェアへの名誉ゲストとしての参加

造幣局が15年振りに「名誉ゲスト（※フェアの主賓）」を務めた、令和2年のワールド・マネーフェア（ドイツ・ベルリン開催）では、当局の出展ブースにおいて、天皇陛下御即位記念貨幣（令和元年発行）等の皇室関連の記念貨幣を展示し、我が国の御慶事を紹介するとともに、その精巧さをアピールしました。このほかにも、勲章や金属工芸品の展示も行い、多くの来場者を惹きつけました。

外国貨幣の製造を通して、海外の友好国との関係を深めています

海外の友好国へ貨幣の受注活動を積極的に展開しています。その結果、平成24年に戦後初めて一般流通貨幣であるバングラデシュ 2タカ貨幣の製造を受注したほか、多くの国々の記念貨幣を製造しています。海外から貨幣を受注し、製造することは、その国との友好関係を深めることに大いに貢献するものであり、造幣局の存在意義は大変高まっています。



(表面)アンコールワット

(裏面)「日本カンボジア友好60周年」の公式ロゴマーク及びキャッチフレーズ (Trust we built. Future we share (かざねた信頼、きずく未来))



さいたま支局 広報室 主任
平成 24 年採用 一般職 (行政)

「造幣局」を国内外に発信

●現在の業務内容

さいたま支局広報室では、支局におけるイベントの企画や、各種メディア対応、博物館の運営等を行っています。造幣局は、公的機関としては珍しく大阪に本局を置いているため、さいたま支局は、首都圏から造幣局を発信するという重要な役割を担っています。その中で、私が担当しているのは、より良い情報発信を行うためのコンテンツの充実化です。例えば、事業案内ビデオの刷新や展示説明の多言語化等を行っています。また、学生時代の専門であった英語を活かして、海外関係者の方をご案内することもあります。広報室では自分自身の考えや創意工夫を業務に反映するチャンスが多く、やりがいを感じています。

●造幣局を志望した理由

最初から造幣局を志望していたわけではなく、合同説明会等で偶然造幣局の業務を知ったのがきっかけです。公務でありながら製造・販売業でもあるという点や、高い技術をもって海外に対し日本を発信することができるという点に惹かれ、造幣局で働いてみたいと思うようになりました。

●今後の展望

以前は海外販売室に所属し、海外に対して日本の造幣局を発信する仕事をしていました。現在の部署では、これまでと立場や業務内容は異なりますが、造幣局の魅力により多くの人を知ってもらいたいという点で、共通していると感じています。今後も様々な部署で経験・スキルを積み、国内外における造幣局の存在感を高めることに貢献していきたいと考えています。



Message 学生のみなさんへ

造幣局は、公務でありながら製造・販売業でもあるという珍しい機関です。他の公務員の職場ではなかなか経験できないような仕事が多くあります。公務員志望の皆さんの中で、好奇心やチャレンジ精神が旺盛な方には、ぜひ造幣局の業務説明会等に参加し、造幣局の業務を知っていただきたいと思っています。

「造幣局の情報セキュリティを守ります」

●現在の業務内容

情報システム課では、局内のパソコンやネットワーク等の管理業務を行うほか、各部署で使用されている業務システムの運用支援を行っています。造幣局ではERPシステム（統合基幹業務システム）をはじめとして各種の業務システムが導入されており、情報システムの適切な運用は、効率的な業務の運営において必要不可欠です。また、情報セキュリティにも注意を払う必要があり、情報処理機器の安全確保は、局全体を支える重要な業務と言えます。

情報システムの世界は日々進化していますので、自身の知識を深めるため、勉強の日々です。

●造幣局を志望した理由

公務員を志望するにあたり、私自身が理系の学部所属していたことから、「モノづくり」に関わりたいと考えていました。そのような思いを持ちながら業務説明会に参加したところ、貨幣製造を通じて培われた技術力の高さ、信頼度の高さに魅力を感じました。

●やりがいを感じる時

ERPシステムの運用に関して、年度更新作業を任せられたことです。ERPシステムは、在庫や会計に関する情報が連携しており、データに不備がないことを確認したうえで、次年度の会計情報処理に必要な膨大なマスタ情報を登録します。限られた時間の中、手順通り確実に処理する必要があり、途中、様々な問題に直面しましたが、上司に相談しながら一つずつ解決し、無事終了したときには、安堵感とともに、やり逃げたことに対する大きな達成感を感じました。



総務部 情報システム課 係員
平成 30 年採用
一般職 (電気・電子・情報)

Message 学生のみなさんへ

造幣局に限らず、業務説明会に参加し、実際に働く職員の声を聞いてください。採用パンフレットやインターネット情報だけでは発見できないことや、自分が本当にやりたいことが見つかると思います。また、学生の間に様々な経験をしてください。どんな経験であっても、いつか役立つときが来ると思います。

「国の予算編成に携わっています」



●現在の業務内容

私は現在、財務省主計局に出向し、各省庁の予算の査定をしています。具体的には、秋口に行われる各省の予算要求とヒアリングをもとに、より効率的な資源配分となるよう来年度予算を作成していく仕事です。適切な予算を組み合わせるためには相手省庁の事業を理解することが不可欠で、私も担当課の方々日々連絡を取り、事業内容を教えて頂き、時に事業の方針について議論しつつ、予算を組み立てている毎日です。このような作業を踏まえて、自分が担当

する予算が組み上がったときは感慨深さを感じ、それまでの疲労感が吹き飛ぶような感覚です。主計局では、触れるもの全てが新鮮な感覚が続いています。

●造幣局を志望した理由

社会基盤を構築・維持する仕事に携わりたいという面から元々インフラ関係を志望していたこともあり、現業部門を保有している造幣局に興味を持ち説明会に足を運んだところ、働いている方々の人柄に惹かれ、志望しました。また、勤務地が大阪、さいたま、広島と、都市部に近いという点も魅力の一つです。

●これまでの仕事で印象に残っていること

現在、他の独立行政法人の予算について担当者と日々議論をしています。事業の目的は何か、どのような成果が出ているのか、優先的に取り組むべきものか、積算は妥当か等々、議論すべき事項は尽きません。予算の査定業務を経験したことは、造幣局において予算を要求する際に、大きく役に立つであろうと期待しています。



財務省 主計局 係員
平成 30 年採用 総合職 (経済)

Message 学生のみなさんへ

就職活動において、公務員を含め、将来の働き方について検討されているかと思いますが、その機会を大事にしてください。視野を広げるためにも、幅広い分野の話聞いてみることをお勧めします。その中で造幣局に興味を持っていたら、一度説明会に足を運ばれてはいかがでしょうか。

「時代が変わっても変わらないモノづくり」

●現在の業務内容

私は主に、500円から1円の通常貨幣を製造するための作業計画の立案業務に従事しています。貨幣となる材料を溶解する工程から、完成した貨幣を袋詰めするまでの工程について、機械の能力・台数や作業員数を勘案して作業計画を作成します。ただし、全てが当初の計画通りに進むわけではなく、予期せぬ事態が発生した時には、関係部署と調整を図り適宜見直します。本支局の各工程が効率的に機能するよう計画を立てる必要があり、責任が重く大変なことも多いですが、その分やりがいのある業務だと感じています。

●造幣局を志望した理由

正直なところ、造幣局は数ある志望先の一つでしたが、官庁訪問を進める中で、造幣局のことをより知りたくなりました。貨幣という誰にでも身近なモノの製造を行っているということに自分も携わりたいと思い、造幣局への志望を決めました。

●これまでの仕事で印象に残っていること

現職の前は、財務省に2年間出向し、造幣局や国立印刷局と連携を取りながら、偽造通貨の対策や記念貨幣の発行等業務に携わっていました。その中で最も印象に残っているのは、改刷・改鑄の業務に携わったことです。改刷・改鑄は、世間一般にも大きな影響を与える出来事であり苦労も多かったですが、そこで得た経験が今の自分の成長に繋がっていると感じます。



貨幣部 管理環境課 主任
平成 28 年採用
総合職 (工学)

Message 学生のみなさんへ

造幣局は、公的機関でありながら「モノづくり」を行っているため、その業務は多岐にわたります。そのため、どのような専門分野の方でも、自分の能力を生かせる場が必ずあると思います。誰にとっても身近で、かけがえない貨幣の製造に興味がある方は、是非造幣局で共に働いてみませんか。





●造幣局を志望した理由は何ですか？

大学では理学部生命科学科に在籍し、金属とは関係のない専攻でしたが、「モノづくり」に携わる仕事に興味があり、いろんな官庁を調べる中で造幣局に出会いました。そして造幣局の最新の偽造防止技術を駆使した貨幣の製造に魅力を感じ、造幣局を志望しました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局当初は広島支局貨幣第二課の成形係、その次は貨幣第一課、現在は本局試験鑑定課で勤務しています。貨幣第一課では金属の塊を所定の厚さまで延ばす「圧延」、貨幣第二課の成形係では圧延板を貨幣の形に打ち抜き、縁をつける「成形」という作業をしています。

私は作業に必要な物品の購入や、設備の点検・修理の手配、貨幣を計画的に製造するための作業計画の作成を行っていました。試験鑑定課では貨幣の材料及び貴金属等の品位分析作業や貨幣の真偽鑑定作業を行っています。私は同様の事務のほか、分析作業や鑑定作業の手伝い等もしています。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

入局前は、説明会の時も含め男性ばかりで女性が少なく、男性中心の組織なのかと思っていました。しかし入局後は、近年女性職員の採用に力を入れていることや、局内や労働組合のイベント等で他部署の方と関わる機会もあり、様々な場所で女性が働いているイメージに変わりました。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

事務の仕事は男女関係なく同じ仕事を行い、やりがいのある職場です。私の希望もあり、溶解課と貨幣第一課のみで行われている二交代制勤務を女性で初めて担当させてもらうなど、「女性だから」といった理由で仕事を制限されることはないので、意欲を持って働ける職場だと感じております。



研究所 試験鑑定課 係員
平成26年採用 一般職(化学)

Message 学生のみなさんへ

専門の分野に限らず、「モノづくり」に興味がある方は一度造幣局を見に来てください。4月の桜の通り抜けや博物館見学などは、説明会や官庁訪問とは異なる形で造幣局を見て知ることができます。

●造幣局を志望した理由は何ですか？

普段、当たり前のように使用している貨幣ですが、当たり前に行っているのは日本国という信用があるから。そんな貨幣を独占的に製造し、公的機関でありながら民間の手法を取り入れてマネジメントしている造幣局に興味を持ちました。

また、国の機関としては珍しく大阪に本局を構え、実家からも遠くなく、ワーク・ライフ・バランスが実現できそうな職場だと思い、志望しました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局当初は、経営企画課に配属され、造幣局全体のお金の流れを学びました。その後、財務省へ外向し、予算関連法案の審査や法案作成業務に携わりました。また、さいたま支局在籍中は、支局主催の広報イベントの企画立案、取材対応、博物館の展示の充実等に取り組みました。

現在は再び経営企画課に配属され、経営データを収集・分析しつつ、造幣局の課題解決のためのプロジェクトにも参加しています。専門的な知識がまだまだ不足しているので、日々勉強です。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

入局するまで特段のイメージは持っていませんでしたが、入局後、桜の通り抜けや各種式典、見学者が大勢訪れる博物館を通じて、地域から愛され、必要とされている機関であると感じました。明治4年の開設以来続く伝統を誇りに感じ、仕事をされている職員が多くいる職場だと思います。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

夫の仕事の都合で、結婚を機に、さいたま支局に転勤させていただきました。また、出産の際には産休・育休を取得しました。男性の多い職場ですが、家庭に貢献している男性職員も多く、理解を得やすい環境だと思います。現在は、周囲のサポートもあり、効率を重視しながら日々の仕事と家事・育児等をこなしています。



総務部 経営企画課 専門官
平成18年採用 総合職(法律)

Message 学生のみなさんへ

自分の意思をしっかり持って発信できる人は必ず活躍できる職場です。学生時代は、よく学び、よく遊び、いろいろな経験をして、今しかない自分だけの時間を有効に使ってください。皆さんとともに働けることを楽しみにしております。



事業部 海外販売室 係員
平成31年採用 一般職(行政)

●造幣局を志望した理由は何ですか？

純正画一な貨幣の供給という独自の形で、国民生活の基盤を支えている点に惹かれました。また、私が大学時代に専攻していた英語を活かせる部署があり、その部署で活躍されている職員の方のお話を業務説明会で聞き、刺激を受けたのも大きなきっかけとなりました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局時より造幣局製品の海外販売を担当しています。海外のコインディーラーに造幣局の記念貨幣セットや金属工芸品を紹介し、受注契約を取りまとめ、製品を発送するまでの一連の業務を担っています。また、年に数回、海外の貨幣イベントに赴き、現地でコインディーラーとの商談や新販路開拓のための情報収集を行っています。

2020年にドイツで開催されたワールド・マネーフェアでは、日本の造幣局が主賓を務め、日本の記念貨幣や勲章見本の展示を行い、また他国の造幣局関係者と交流するなど、多くの貴重な経験ができました。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

明治4年創業という長い歴史や国家公務員という身分から、真面目で堅実な方が多い印象でしたが、実際は穏やかで優しい職員の方が多く、他部署の方でも気さくに声をかけてくださいます。しかし、貨幣の安定供給という国内唯一の使命を胸に、職員の方が真摯に職務に臨んでいるという印象は今も変わりません。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

出産・育児に関する制度が充実しており、また1時間単位の有給休暇が取得できるため、育児の状況に合わせて柔軟な働き方ができます。これらの制度を活用し、仕事と家庭を両立させて働く先輩職員が身近にいて、自らのライフプランを安心して思い描くことができ、仕事をする上でのモチベーションとなっています。

Message 学生のみなさんへ

少しでも造幣局に興味を持ち、このパンフレットを開いてくださったのであれば、ぜひ業務説明会等に足を運んでいただき、職員の方の生の声を聞いてほしいと思います。桜の通り抜けが開催される頃、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしております。



広島支局 貨幣第一課 係員
令和2年採用 総合職（工学）

● 造幣局を志望した理由

自分の専門分野にこだわらず、なおかつ公共性の高い仕事に就きたいと考え、就職活動をしていました。その中で、国家公務員という立場でありながら製造や販売を行っていること、そして何より貨幣という誰もが手にする製品の製造に携われることに大きな魅力を感じ、志望しました。また、官庁では珍しく地元である大阪に本局があることにも魅力を感じました。

● 現在の業務内容

私が所属する貨幣第一課では、鋳塊という棒状の金属を貨幣の厚さになるまで薄く延ばす「圧延」という作業を行っています。二交代制勤務の部署であり、早番・遅番勤務が1週間ごとに入れ替わります。私は現在、圧延工程の作業計画の管理や機械設備の修理修繕に係る事務業務等を行っています。機械設備にトラブルが発生することもあります。その場合でも決められた製造量を製出するために、臨機応変に対応する必要があります。

● 職場の雰囲気など

皆さん気さくに話しかけてくださり、居心地の良い職場です。業務に対して緊張感をもって真摯に向き合っており、良い刺激となっています。また、わからないことがあれば適宜指導やアドバイスをいただけるので、大きな不安なく業務に取り組むことができます。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

業務を行う上で必要な知識や技術は多岐にわたるため、わからないことも多いですが、一つずつ確実にこなしていき、早く一人前になりたいと考えています。そして様々な業務に携わる中で、自らの専門性を高め、必要とされる人材になりたいです。

● リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

家で映画やアーティストのライブ映像をゆっくりと過ごすことが多いですが、遅番勤務の週は平日の午前中に出かけられるので、買い物や食事をしに外出することもよくあります。また、最近局内のテニスサークルに初心者ながら加入したので、まずはラリーが続けられるように練習しています。

Message 学生のみなさんへ

造幣局は公務員でありながら「モノづくり」を行っている珍しい機関です。貨幣製造業務をはじめとして他では中々経験できない仕事がたくさんあります。造幣局に少しでも興味があれば、是非一度業務説明会などの機会を通じて、業務内容や雰囲気を知ってもらいたいです。



令和2年度 新規採用 職員ヘインタビュー

Message 学生のみなさんへ

様々な企業や官庁の説明会に足を運んで、自分の肌で雰囲気を感じ取るのがよいと思います。同じ情報であっても、働いている方から直接聞くと印象が大きく変わることがあります。造幣局のこともパンフレットだけでなく、業務説明会や工場見学にお越しいただき、候補のひとつにいただければ幸いです。

● 造幣局を志望した理由

国家公務員でありながら貨幣の製造や販売を行っている点に興味を持ち、様々な業務に取り組める可能性の広さに魅力を感じ志望しました。業務説明会で感じた落ち着いた雰囲気が良かったことも志望理由の一つです。

● 現在の業務内容

私は契約・保有資産監理官付で、資産を管理する管財業務を担当しています。造幣局にある機械装置の管理業務や、建物の修繕の記録を残す業務を主にしています。新たな資産を取得した際には、資産の耐用年数や範囲等に注意する必要があるため、過去の資料も参考にしながら業務に取り組んでいます。自分が作成した資料が参考になる日のことを考え、日頃から丁寧な資料作成を心がけています。

● 職場の雰囲気など

わからないことがあればすぐに相談できる雰囲気で、風通しが良い職場だと感じています。また、業務の面以外にも体調や休暇取得などに気を配っていただくことが多く、安心して業務に取り組むことができます。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

様々な業務に触れ、包括的に知識を深めていくことで、自分のできる仕事を増やしていきたいと思っています。そうした中で自分の軸となる専門分野を確立し、造幣局に貢献できる職員を目指していきたいです。

● リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

家でゆっくりすることが好きなので、終業後は読書やラジオ鑑賞をして過ごすことが多いです。休日は、好きなアーティストのライブ映像を見たり、実際に足を運んだりしてリフレッシュすることもあります。

総務部 契約・保有資産監理官付 係員
令和2年採用 一般職（行政）



● 造幣局を志望した理由

学生時代のベトナム留学をきっかけに、日本の貨幣の技術力の高さに気づき、貨幣製造を行っている造幣局に興味を持ちました。また、説明会を通して、造幣局では貨幣の製造のみならず、勲章・褒章の製造、品位証明など幅広い業務が行われていることを知り、魅力を感じたため志望しました。

● 現在の業務内容

私は広報官付に所属し、主に工場見学の受け入れ対応や造幣局ホームページの更新業務を担当しています。ホームページに関しては、造幣局の情報を発信する場であり、多くの方が目にするものなので、より見やすいページ構成にするための工夫を心掛けています。また、文言や掲載データのミスが無いように上司と複数確認を徹底し、毎回緊張感をもって作業を行っています。

● 職場の雰囲気など

親しみやすい方が多く、雰囲気の良い職場だと思います。入局1年目で様々な不安がありましたが、分からないことがあれば、どんな小さなことでも丁寧に教えていただけるので、とても働きやすいと感じています。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

造幣局の技術力の高さや業務内容について、より多くの方々に知っていただくことが目標です。現在、広報官に所属しているので、ホームページやSNS、イベント等を通じて造幣局の魅力をしっかりと伝えられるような職員になりたいと思っています。

● リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

平日は家でゆっくり過ごしたり、友人と食事に出かけたりしています。週末は車で近所のカフェに行くこともあれば、有給休暇を土日とつなげて取得し、少し遠くへ遊びに行くこともあります。



総務部 広報官付 係員
令和2年採用 一般職（行政）

Message 学生のみなさんへ

造幣局に興味がある方はぜひ業務説明会に参加し、実際に職員の方の話を聞いて自分が造幣局で働く姿を具体的にイメージしていただければと思います。また、工場や博物館の見学にもお越しいただき、造幣局の雰囲気を肌で感じていただければと思います。皆さんと共に造幣局で働くことを楽しみにしています。

Message 学生のみなさんへ

恐らくこの先の人生40年が決まる大きな分岐点が目の前にあると思います。造幣局をはじめ様々な官庁の説明会に足を運び、自らの強い意志を持って就職活動に励んでください。学生時代に培われてきた知識と経験は、どの官庁でも生かせると思います。

● 造幣局を志望した理由

高校卒業後の進路として就職か進学で悩んだ時、大学に進学してから就職するよりは、4年早く就職して働き経験を積む方が成長できると思い、就職しようと思いました。その際に一番目の役に立てる仕事は何かと考えた時、見出した答えが国家公務員であり、その中でも工業系で活躍できる仕事は造幣局であると考え、志望しました。

● 現在の業務内容

貨幣部施設課は、造幣局内の機械のメンテナンスや改修、検査等を行っています。私は主に積算業務や仕様書作成、外部の企業と使用者で導入する機械の打ち合わせ等を行っています。新しく導入する機材の体験などに参加することもあります。座って行う仕事が多いですが、適宜息抜きしながら仕事をしています。

● 職場の雰囲気など

心地よいという言葉がぴったりな職場です。周りの人も優しく明るく仕事を教えてくれますし、働きやすい雰囲気の中で仕事ができます。またワーク・ライフ・バランスを保ちやすい職場ですので、無理せず自然体で働くことができます。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

まずは仕事を覚えて迅速に行動できるようにすることが目標です。外部の方とのやりとりも多い部署ですので、職員としての自覚を持ち責任感を持って仕事をしていきたいです。最終的には、先輩と同等の仕事量をこなせるように頑張りたいと思います。

● リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

家でフィットネスゲームや、最近ではVRをやることが多いです。有給休暇がとりやすいので、家庭用ゲームにすっかりはまってしまいました。自宅からの通勤で片道1時間以上を要しても、18時前に帰宅できるのも影響していると思います。

貨幣部 施設課 係員
令和2年採用 一般職（技術近畿）





総務部経理課係員
平成30年採用
一般職(行政)

○職務紹介
経理課では、財務諸表の作成、契約締結業務、現預金の管理、給与や税金等の支払いなど、幅広い業務を行っています。



事業部製品開発室係員
令和2年採用
一般職(行政)

○職務紹介
製品開発室では、造幣局が販売する貨幣セットや金属工芸品の企画・開発に関して、テーマ選定から外部機関との交渉など幅広い業務を行っています。



事業部装金課係員
平成30年採用
一般職(化学)


○職務紹介
装金課では、勲章や桜の通り抜け記念メダル等の金属工芸品の製造を行っています。




広島支局貨幣第一課係員
平成28年採用
一般職(電気・電子・情報)

○職務紹介
貨幣第一課では、5つの工程でライン作業を構成しており、金属の塊(鋳塊)を貨幣の厚みまで薄く延ばした圧延板を製造しています。

9:00 **デスクワーク**
出勤後は銀行口座の入出金を確認し、各事業の収入に係る入金があれば、関係部署に入金連絡を行います。一つずつ内容を確認し、伝票を登録します。



9:40 **金融機関への支払い**
通常の支払い手続きとは異なる案件対応のため、金融機関に赴きます。所定の時間までに支払手続きを行う必要があり、前日までの準備が欠かせません。



11:00 **銀行口座の開設**
この日は銀行口座の開設手続きを行いました。手続き内容や提出書類について、銀行と事前に打ち合わせを行っていたので、滞りなく進めることができました。

12:00 **昼休み**
お昼は、持参したお弁当をデスクで食べています。昼食後は、午後からの仕事に向けてリフレッシュしています。


13:00 **外国送金**
他課から依頼された外国送金の処理を行います。送金先の情報や金額等に誤りがないか細かくチェックし、指定された通貨で送金します。

14:00 **給与支給**
この日は給与支給の手続きを行いました。支払いに必要な書類を作成し、振込処理を行います。同時に、給与天引きした税金などの支払いも行います。



17:30 **退庁(アフターファイブ)**
平日は家に帰ってのんびり過ごすことが多いですが、週末は同期や友人と食事に出かけることもあります。

9:00 **出勤、デスクワーク**
出勤後は、メールを確認し、1日のスケジュールを立て、スムーズに業務に取り掛かれるように準備をします。提出資料などもこの時間に作成します。



10:00 **製品見本の確認**
製品見本の色合いや文字が、デザインと相違ないか校正チェックを行います。製品化前の最後の確認となるため、気の抜けない作業です。



11:00 **会議への出席**
製品開発室は、決められた販売計画に基づいて業務に取り組みます。作業の進捗状況把握のために会議へ出席し、製品の製造スケジュールを確認・調整します。

12:00 **昼休み**
デスクでお弁当を食べながら、趣味の話などで盛り上がりとてもリフレッシュになります。

13:00 **製品企画**
民間企業等に訪問し、製品化の企画・提案を行うため、事前の準備が欠かせません。主に企画書等の書類作成や見本品の準備、情報収集を行います。

15:00 **新製品に関する打ち合わせ**
他部署と新製品のデザインについて打ち合わせを行います。販売対象や製品特徴を考慮しつつ、デザインの方向性や製品の仕様について入念に話し合うことで、より良い製品を目指します。



17:30 **退庁(アフターファイブ)**
この日はまっすぐ家に帰って、夜ご飯を食べながら友人とテレビ電話をして楽しみました。


8:00 **出勤、朝礼**
現場及び事務所で朝礼から仕事が始まります。納期が近い製品の進捗確認や製造工程で発生している問題有無の報告等、情報共有を行います。



9:30 **決裁文書、報告書の作成**
資材調達や機械の購入等に関する決裁文書の作成を行います。また、装金課の作業進捗や発生した不良品数を取りまとめた報告書の作成も行います。




11:00 **検品作業**
繁忙期には仕掛品や資材の検品作業を手伝います。キズや汚れがある場合には、前工程から再度作業を行い、合格してから次工程に送付します。



12:00 **昼休み**
局が職員向けに手配してくれるお弁当を注文し、自席で食べています。栄養バランスが良く、一人暮らしの身としてはありがたいです。

13:00 **業者との打ち合わせ**
金属工芸品に使用するケース等の資材調達に関して、業者との打ち合わせを行います。納期や仕様等、認識に相違ないか確認します。

15:00 **たな卸業務**
システム上の在庫数量と実際の在庫数量が一致するか、確認作業を行います。装金課では多種の物品を保有しているため、日々の数量管理が重要です。




16:30 **退庁(アフターファイブ)**
週に1日は定時退庁日が設けられておりますので、家事や趣味に時間を使うことができます。

7:30 **出勤、朝礼**
貨幣第一課は二交替勤務の職場で、早番の週は7時30分始業です。前日選番からの引継ぎを受けた後に作業担当者と朝礼を行い、その日の作業予定について情報を共有します。

9:00 **鋳塊積み降ろし作業**
今後作業に使用する鋳塊について積み込み作業を業者に依頼します。業者へ鋳塊の場所を指示し、関係装置の設定変更等を行います。



11:00 **デスクワーク、現場確認**
製造設備の修理・保守点検の仕様書作成や、作業で使用する消耗品の購入手続きなどを行います。修理対象の設備については、現場の担当者に詳細を確認します。



12:00 **昼休み**
食堂で昼食をとり、職場の方々と世間話をしながら休息しています。

13:00 **納品物の確認、検査**
製造に必要な部品等の納品があった際は、発注仕様と相違がないか入念に確認を行います。納品前に製造工場等に赴き、立会い検査を行うこともあります。



14:00 **産業廃棄物収集の立会い**
製造過程で発生する産業廃棄物を、収集運搬業者に依頼し工場外に排出します。貨幣第一課では特に廃油の排出量が多く、貯蔵槽の廃油量を日々管理しています。



15:15 **引継ミーティング**
15時15分から出勤の選番担当者に、早番で行った作業や連絡事項について引継ぎを行います。

15:45 **退庁(アフターファイブ)**
早番の週は15時45分に退庁します。平日でも比較的早い時間帯に銀行や買い物に行けるため助かります。



貨幣部 管理環境課 主任
平成 27 年採用 総合職 (工学)

● 両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

周りの人に支えられていることを実感することが多く、日々感謝をしながら仕事をしています。また、終業時刻より早めに帰っているため退庁後に業務が入ることや、子どもが病気にかかって急に休むことがしばしばあります。そのようなときに業務が滞らないよう、仕事を一人で抱えこまないようにしています。

Message 学生のみなさんへ

造幣局には育児をしながら勤務している職員がたくさんいるので、仕事と家庭の両立をするうえでのアドバイスももらえることが多く、大変心強い職場です。ぜひ、皆さんも造幣局と一緒に働いてみませんか。

● 仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

育児休業中は家事や育児で手いっぱいだったので、さらに仕事をするには不安がありました。実際、職場復帰すると休業前と変わっていることが多く、戸惑うばかりでした。しかし、周りからのサポートのおかげで少しずつ業務をこなすことができるようになり、生活にメリハリがついてきたと感じています。仕事と家庭の両立は簡単ではありませんが、子どもの「自慢のママ」になれるよう、頑張っています。

● 利用した支援制度は？

「産前・産後休暇」、「育児休業」を利用しました。子どもと向き合う時間をしっかり取ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。子どもが6カ月のときに職場復帰した後は、「早出遅出勤務」と「保育時間」、「育児時間」を組み合わせて勤務しています。また、子どもが熱を出したり、健診に行ったりするときには「子の看護休暇」を利用しています。保育園に通い始めてからは周囲からの影響で病気にかかりやすくなったので、支援制度のおかげで大変助かっています。



● 育児だけではなく、介護についても同様に休暇等制度が利用できます。

● 仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

休業から復職する際、1か月のブランクがあったためスムーズに業務に戻れるかが不安でした。しかし、課内及び関係部署の方々が協力して下さり、休業中の私の担当業務を対応していただいた上で、復職時に1か月間の出来事や業務の現状を丁寧に引き継いで下さったおかげで無事に復帰できました。感謝の気持ちでいっぱいです。

● 利用した支援制度は？

第1子と第2子誕生の時は「出産時付添い休暇」と「男性育児休業」を、第3子誕生の時は加えて約1か月間の「男性育児休業」も利用させていただきました。

● 両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

子供の看護のため急に休まざるを得ない時があります。そのため、業務を1人で抱え込まず周囲へ情報共有する、業務はため込まず優先順位を決めて締め切りが近いものから対処する、ちゃんと感謝を伝える等といった社会人として基本のことばかりではありますが、基本ほど確実に実行することが大切だと心掛けています。

● 支援制度を利用してよかったと思う点はありますか？

1か月間の「男性育児休業」では、第3子の新生児期という二度とない貴重な時間を一緒に過ごせたことがかけがえない思い出になりました。また、上の2人の子達ともこれまで以上にじっくり時間をかけて触れ合えたので家族の絆が深まったと思います。



事業部 事業企画課 主事
平成 25 年採用 総合職 (工学)

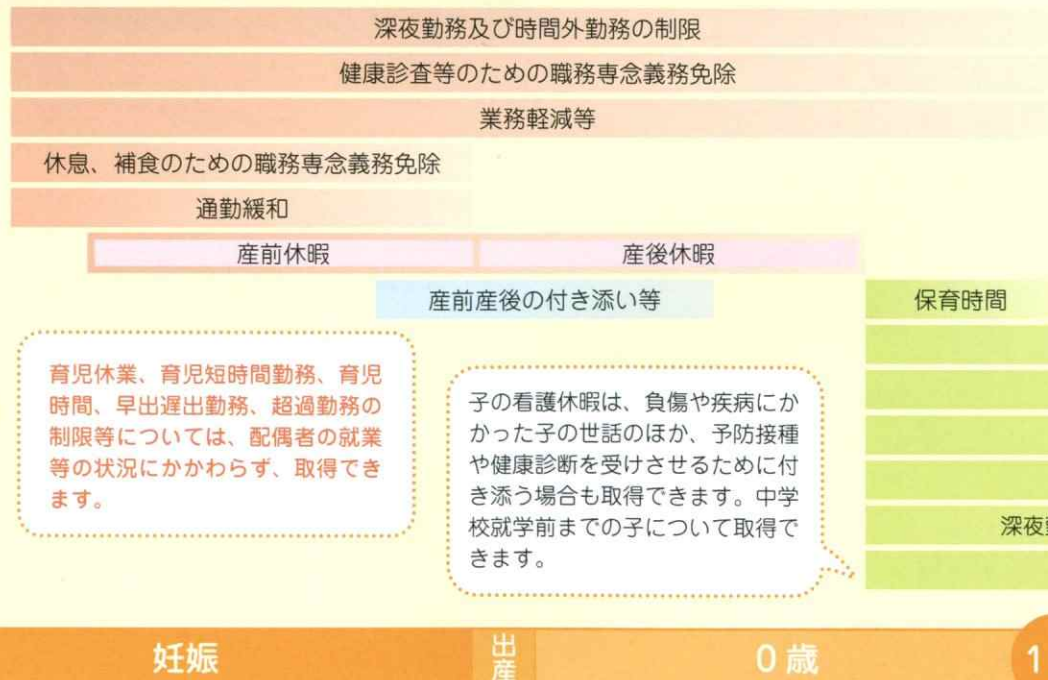


Message 学生のみなさんへ

3人の子育ては大変ですが、自分にとって癒しであり仕事へのモチベーションにも繋がっています。モチベーションづくりの方法は家庭だったり趣味だったり十人十色だと思います。試行錯誤して自分にぴったりの方法を見つけて、これから始まる長い社会生活を精力的に頑張っていってほしいです。

仕事と育児の
両立のための
行動計画メニュー
(女性職員の場合)

Work-Life Balance



育児休業、育児短時間勤務、育児時間、早出遅出勤務、超過勤務の制限等については、配偶者の就業等の状況にかかわらず、取得できます。

子の看護休暇は、負傷や疾病にかかった子の世話のほか、予防接種や健康診断を受けさせるために付き添う場合も取得できます。中学校就学前までの子について取得できます。

男性職員も、産前産後時の休暇や育児のための各種休暇等制度が利用できます。



長さは取得可能期間を示します。

- 母性保護のための制度 (女性)
- 出産時のための制度 (女性)
- 出産時のための制度 (男性)
- 育児のための制度 (女性・男性)

早出遅出勤務は、小学校入学後も放課後児童クラブ等に送る子を送り、または迎えに行く場合にも利用できます。

採用関係情報

給与

国の機関に勤務する一般職国家公務員は、一般職の職員の給与に関する法律の適用を受け、給与が支給されます。

一方、造幣局の職員は国家公務員ですが、当該法律の適用対象外であり、内規として給与規程を定め、給与が支給されます。なお、給与制度に関しては、概ね国と同様の給与体系となっています。

初任給	総合職(院卒者)	234,300円
	総合職(大卒程度)	205,370円
	一般職(大卒程度)	200,420円
	一般職(高卒者)	165,660円

(大阪市で勤務する場合、令和元年度実績)

その他にも扶養手当・通勤手当等が支給されます。また、年2回賞与(期末手当、奨励手当)が支給されます。

福利厚生

◆健康管理

健康診断を定期的実施し、また、そのフォローアップも行っています。

◆共済制度

造幣局採用と同時に財務省共済組合の組合員となります。共済組合員は、病気、負傷、出産等に関して給付を行う短期給付や退職後に年金として支給される長期給付を受けることができます。また、臨時に必要とする支出に対する生活資金等の貸付制度もあります。

サークル活動

健康と明朗さを保ち、職員相互の親睦を図るため各種スポーツや文化・趣味をテーマに、様々なサークルが活動しています。各種団体が主催する大会にも参加して優秀な成績を収めています。

勤務時間、休日休暇

◆勤務時間

製造部門の部署に配属される職員は午前8時から午後4時30分、庁舎・管理部門の部署に配属される職員は午前9時から午後5時30分までの勤務となります(いずれも7時間45分勤務(休憩時間は45分))。なお、庁舎・管理部門のうち、一部の部署については時差勤務(午前7時~午前11時の間に出勤)が可能です。

◆休日

土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始が休日となります。

◆休暇

有給休暇としては、年に20日(4月1日採用の場合は15日、残日数は20日を限度として繰越可)の年次休暇、病気休暇、特別休暇(夏季、結婚、出産、子の看護、ボランティア、忌引など)が付与されます。

配属

造幣局採用後、まず本局の研修所において約2カ月間、造幣局職員としての必要な基礎知識を身につけるための新規採用職員研修を受け、その後、各職場に配属となります。

なお、配属先においては、所属の先輩職員が専属の指導員として付き添いますので、安心して業務を行うことができます。

毎年職員から、勤務地、部署などの希望を申告する機会があります。職員の配属に際しては、申告のあった希望や、能力、適性、業務上の要請などを総合的に勘案して行います。

◆スポーツ

野球、バレーボール、テニス、卓球、弓道など

◆文化・趣味

吹奏楽、茶道、書道など

研修

造幣局では、公務員として求められる高い能力や資質に加え、全体の奉仕者としての使命感や倫理観を持った人材の育成が極めて重要であるとの認識の下で、職場や職員のニーズに合った様々な研修を実施しています。また、専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、通信教育による学習活動の支援も行っています。

新規採用職員研修

造幣局の業務についての基本的なことや、仕事を行ううえで求められる行動と責任について学びます。また、研修期間中、実際に製造現場における業務を知っていただくことを目的として、本・支局の現場研修を実施しています。

採用後約2カ月間の新規採用職員研修を修了した後、各職場に配属となります。

主なカリキュラム

- 業務についての基礎知識
- 社会人の基本として必要なビジネスマナー
- 現場研修(貨幣製造工程、勲章製造工程での現場研修等)

階層別研修

造幣局の求める各階層の役割を十分に自覚し、強い責任感を持って仕事に取り組む人材を育成することを目的として、係長、課長補佐、課長等の昇任後に、各役職に求められる能力を養成する研修を実施しています。

主なカリキュラム

- 仕事と人のマネジメント(係長研修)
- 管理・監督者のあり方、部下指導(課長補佐研修)
- 課題設定力・問題解決力(課長研修)
- コンプライアンスに関する研修(全階層)

専門性能力向上研修

人事労務管理、財務・経理、販売管理及び技術管理等の業務に従事する職員を対象に、職務の専門性を一層高め、能力向上を図ることを目的として実施しています。

主な研修・試験

- ビジネス・キャリア検定試験(労務管理、生産管理等)
- 販売士
- 原価計算、財務諸表分析、簿記
- 貿易実務(英文契約) ● 知的財産権

一般総合研修

一定の勤続年数(3~5年)に達した職員を対象に、約1カ月間職務遂行上求められる基礎的な知識を再確認したうえ、さらに専門的な知識の習得に努めることを目的として実施しています。

主なカリキュラム

- プレゼンテーション
- アカウンティング・原価計算
- 生産管理・品質管理 ● マーケティング

国外派遣研修

海外業務に関連する職員を育成するため、選考された職員の語学力の向上を図るとともに、一定の語学レベルに達した時点で国外の大学に派遣しています。過去の国外派遣研修においては、アメリカの大学において経営に関する科目(管理会計論、組織論、ファイナンス、マーケティング等)を学んで、グループワークやプレゼンテーションを中心とした課題に取り組み、研修修了後は海外業務に関する部署において活躍している職員もいます。

自己啓発支援

専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、幅広い分野について予め選定した通信教育による学習活動を支援しています。

主な通信教育講座

- 語学(TOEICテスト実践トレーニング、実用英語講座)
- 資格取得(日商簿記検定、社会保険労務士講座)
- ビジネススキル(問題発見・解決、パソコン等)
- 生産・技術(品質管理、工程管理)

Q&A

採用、就業条件について気になることをお答えします。

Q1 A 職員の身分は国家公務員ですか。

職員の身分は国家公務員です。
造幣局は独立行政法人の中でも行政執行法人に位置付けられています。独立行政法人通則法により、行政執行法人の職員の身分は国家公務員とする旨が定められています。

Q2 A 国の行政機関における造幣局の位置付けはどのようなものですか。また、行政執行法人とは、何ですか。

造幣局は財務省の特別な機関でしたが、平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは、その中でも行政執行法人と位置付けられました。

行政執行法人とは、公共上の事務等のうち、国の行政事務と密接に関連する業務を、国の相当な関与の下に確実にを行うことを目的とした法人です。

Q3 A 学生時代の専攻が採用にあたって有利・不利になることはありますか。

学生時代の専攻が採用に有利・不利になることはありません。造幣局では、人物・能力本位で採用しており、特定の分野に偏ることなく、多様な人材を採用しています。仕事をすすめるうえで必要な知識は、日々の業務を通じて修得できるほか、各種研修の機会も準備されているので心配はいりません。

Q4 A 採用されやすい試験区分はありますか。

造幣局は「モノづくり」を中心としているため、大きく区分して、採用数は技術系の試験区分からの方が行政系よりも多くなっているのは確かですが、試験区分によって、採用されやすい又は採用されにくいといったことはありません。入局後も、試験区分によってキャリアパスが限定されることはありません。技術系で採用されても、事務系の業務に携わっている職員も多くいます。

Q5 A 採用試験前に取得しておく有利な資格はありますか。

特に有利な資格はありません。語学力等の資格はないよりもあった方が良いですが、決め手にはなることはありません。例えば、語学力について、入局後に語学研修の機会もありますので、そうした場を活用して力を付けていただき、その力を発揮していただければ十分です。

Q6 A 技術系で採用になると、工場の現場で製造作業も経験できるのですか。

配属部署によっては、作業の管理、資材等の調達、設備点検、技術指導などの業務を通して、工場等での製造作業に携わる場合がありますが、直接、製造作業に従事することはありません。

Q7 A 転勤や造幣局以外での勤務はあるのでしょうか。

本局（大阪）以外に、さいたま支局、広島支局で勤務する場合があります。

また、財務省本省（大臣官房、主計局及び理財局等）に出向し、勤務する場合があります。

さらに、国外派遣研修を利用して外国の大学に留学する機会もあります。

Q8 A 女性にとって働きやすい職場なのでしょうか。

造幣局では、超過勤務の縮減や休暇の取得促進など、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進し、働きやすい職場環境の整備に努めています。出産後に「育児休業」を取得後復職し、仕事と育児を両立して活躍している女性職員もたくさんいます。

また、女性職員のさらなる登用の拡大に向けて、女性が活躍できる職域の拡大や研修等を通じたキャリア形成支援にも取り組んでいます。

Q9 A 残業はどの程度ありますか。また、休暇の取得状況はどうか。

業務量や業務内容は部署や担当、また時期等によって多様ですので、一概にどの程度ありますと示すことはできませんが、例えば、作業部門では作業計画に基づいた週4日・各2時間の計画残業が実施される場合があり、関連部門においてもそれに対応した勤務体制となることがあります。

有給休暇は1年間に20日付与され、職員が1年間に16日以上取得できるよう休暇の取得を推進しています。

Q10 A 採用状況はどのようになっていますか。

(単位:人)

区分	採用年毎	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計			
総合職	法律			0		0		0		0			
	経済	1		1	1		0			0			
	工学	1		1	1	1	1	2	1	1			
一般職(大卒)	行政		1	1	4	4	1	3	4	1	2	3	
	電気・電子・情報	2		2	1		1	1	1	1	1		
	機械			0	2		2	1	1		0		
	建築			0			0		0		0		
	化学	2	1	3			0		0		1	1	
一般職(高卒)	事務			0		0	1	1	1	1	1		
	技術			0		0	1	1	1	1	2	3	
合計	総合職	2	0	2	2	0	2	1	1	2	1	0	1
	一般職(大卒)	4	2	6	3	4	7	3	3	6	2	3	5
	一般職(高卒)	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	3	4

採用担当者からのメッセージ



造幣局は、通貨制度を支える貨幣を安定的に製造することにより、国の社会的基盤を支える役目を担っています。一口に貨幣の製造と言っても、この採用案内で紹介するように関連する業務内容は多岐にわたり、単純ではありません。製造に関わる技術的な業務を専門にする部署もあれば、いわゆる行政的な業務を専門にする部署もあります。造幣局では、採用区分や試験区分等に関わらず、多様な業務に対応するための人事が行われ

ており、専門性を生かすことも、様々な分野にチャレンジすることもできます。

就職活動中は、どのような業務を志望するか迷うこともあると思います。どんな業務であれ前向きに取り組める方であれば様々な業務を経験できる造幣局は魅力的な職場だと思いますので、ぜひ一度お越しいただき、雰囲気を感じてください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

本局総務部 人事課

JAPAN MINT

ACCESS



【本局】

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79
TEL 06-6351-5158(直通)
総務部人事課(人事担当)



【さいたま支局】

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町
1-190-22
TEL 048-645-5893(直通)
総務課(人事担当)



【広島支局】

〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央6-3-1
TEL 082-922-2093(直通)
総務課(人事担当)



造幣局ホームページ
<https://www.mint.go.jp>

採用情報
<https://www.mint.go.jp/about/recruit>



<https://www.facebook.com/mint.go.jp/>



明治時代の造幣局